

香曾我部義則先生の今月のカルテ ①

慢性痛とペインクリニック

他人には分からない体の「痛み」、あなたは どうして いますか。日進月歩といわれる医療技術の中で、この「痛み」に対して最近ではペインクリニックを勧める病院、医院が岡山でも増えてきています。そこで今回から、梶木病院麻酔科・ペインクリニック部長の香曾我部義則先生に「慢性痛とペインクリニック」と題して連載コラムを執筆していただきます。まずはプロローグから。

ペインクリニックは、究の妨げ」と考えられ 取り除く治療をするこ とも呼ばれ、痛みを我 慢することが美德とさ れた過去の時代には「危 険信号としての痛みを 取り除くことは原因追

疼痛(とうつう)治療 して いました。 とが 大切 です。 痛みを ようか。それは痛みが のです。

痛みを感じているのに理解してもらえない： そうした経験を持つ人に紹介したい疼痛治療

現在、まず痛みを

ないですか。はつきり した原因が見つからな かった場合など、どこ も悪くないとか痛いは ずがない：と訴えをま に耳を傾け、専門的な 知識と技術を駆使して 痛みの治療に当たるの がペインクリニックな 対応しています。 次回から「ペインクリ ニックの実際」を解説 し、読者の皆さんの質 問にお答えする形式も 加えて痛みのコラムを 続けさせていたくださ ます。ご愛読、よろしく お願いします。

■プロフィール こうそかべ・よしのり 昭和54年3月 岡山大学医学部卒業後、同大学麻酔科・蘇生科講師、岡 山労災病院麻酔科第一部長を経て今年4月1日から現 職。日本麻酔学会専 門医。日本ペインク リニック学会認定医。 現在日本麻酔学会、 日本ペインクリニッ ク学会、日本慢性疼 痛学会、国際疼痛学 会などに所属



香曾我部義則先生

取るのが治療に直結 患者さんにしか分から ないため、痛みに関心 的治療として麻酔科 ちます。治療をしながら のない医師が多く、痛 医による神経ブロック 同時に原因を調べる のの治療を専門に行う 治療を中心に発展、ペ ことが今は可能になり 医師が少ないためです。 インクリニックの中核 ました。 明らかな原因が無く を占めるようになりま 痛みの原因が見つか ても痛みが存在するこ した。しかし、いまだ ったとして、痛みに対 とはよくあります。国 に十分認知されたとは して適切な治療をして 際疼痛学会では「痛み 言い難く、神経プロッ クというなじみのなさ

■メモ 問い合わせ先 日本ペインクリニック 認定施設 梶木病院(西 花尻1231-1)